くみあいNEWS

WAKAYAMA WORKERS' UNION

第１５２９８号
2022年10月3日(月)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部

組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区(本部)(54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

「きょんきょん当選報告会」を開催

去る９月21日、組合会館において、基幹労連和歌山県本部は「きょんきょん当選報告会」を和歌山労組含め、加盟組合より約90名参加のもと開催しました。

報告会では、「当選についてのお礼」と「議員になって変化したこと」、「ものづくりに関する産業政策を実現していくためには」について説明をいただくとともに、組合員の皆さんとの意見交換もおこなわれました。

支部の皆様にご協力いただいたおかげで、村田きょうこさんを盛大にお迎えすることができました。ご協力ありがとうございました。

和歌山労組は、村田きょうこさんの活躍を皆様に知ってもらえるようにLINEや機関誌等を活用してタイムリーな情報発信にこれからも努めて参ります。



村田きょうこ メッセージ

議員になりましたが、お気軽に「村田さん」「きょんきょん」と引き続き呼んでくださいね！





日本製鉄労連「第13回定期大会報告」

去る９月７日、日本製鉄労連「第13回定期大会」が広島県「リーガロイヤルホテル」にて開催され、和歌山労組からは代議員として支部長５名、執行委員４名が参加しました。

第１号議案「第６期後半年度活動方針（案）」に対しては19単組から原案賛成の立場で補強意見が出されました。和歌山労組としては、中野執行委員より「安全な職場環境の確立」、「雇用基盤の確立に向けた企業・グループ経営対策の強化」の２点について補強意見を述べました。第１豪議案をはじめ、第２号議案「2023年度諸会計予算（案）」、第３号議案「器具備品の処分について（案）」のすべてが満場一致で可決・決定されました。

青雲会長挨拶（要旨）



【労働組合の役割と安全について】

会社の構造対策においては、設備休止となる組合員に対し丁寧な対応が労働組合には求められており、連合会と単組がしっかりと連携を図りながら対応していかなければならず、日常会話を通じ個々人の不安解消に努めることや職場の実態を踏まえ必要な対応を図ることなど、設備休止に伴う離職者を最小限に抑えるべく最大限の努力をしていかなければならない。

また労働組合に求められていることは、安全確保と安定生産である。とりわけ不透明な事業環境下において、経営環境に迅速に対応し販売価格への適正な反映をしていくためには、操業トラブルを起こさず、コロナ感染対策を徹底しながら生産維持に全力を尽くして安定供給に努めなければならない。

安全については、６則違反が大幅に減少しており、これまで労使で取り組んできた６則再考活動の成果が表れているものと受け止めている。一方、今年は道工具の取り扱いや作業にかかる前の条件設定不足による不用意な行動に起因する災害が発生している。職場実態に合ったＴＢＭの徹底により、作業前に危険要因を確認してから作業を行い、個々人の安全感度を高めていかなければならない。

連合会としては、安全確保と安定生産に必要な経営資源の投入を引き続き会社に求めていくが、各単組においては安全最優先のもと、現場管理者と作業者の徹底した対話によって未然にトラブルを防止する等、安全操業・安定生産の確立に向け、引き続きそれぞれの持ち場・立場で努力するようもう一段の組合員への指導をお願いする。

【離職防止について】

コロナ禍によるコミュニケーション不足、対話する機会が減ってきていることが退職要因としてあると認識している。退職を考えている方は何らかの兆候があるはずで、その時に声をかけ親身になって話を聞いていれば退職を防ぐことができるケースもあると考える。退職した人の大半は、退職を後悔しているという話も聞く。現在、各箇所労使で離職防止に向けた取り組みを展開しているので、それを継続して広げていくことや常日頃の組合活動の中で職場内での目配り気配りを強化し、悩みを抱えている組合員を見つけ寄り添って離職防止に努めてほしい。

【第26回参議院議員選挙と今後の対応】

15年ぶりの基幹労連組織内議員として「村田きょうこ」を誕生させることができた。得票数を落とす中でも当選させることができたのは間違いなく日本製鉄労連の各単組の皆さんのご尽力のおかげである。これまでのご奮闘に敬意と感謝を申し上げる。2023年統一地方選挙や次の参議院議員選挙に向けてさらなる組織力の強化につなげてほしい。

【労働条件改善ビジョンの策定】

日本製鉄労連が目指すべきビジョンの策定に向け、各単組書記長をメンバー構成とする検討委員会を設置し、着手したところである。労働条件の項目ごとに目指すべき目標を設定することや様々な事情を抱える多様な人材の持てる力を最大限に発揮する観点、組合員一人ひとりが誇りとやりがいをもって働くにはどうあるべきか、職場環境等、様々な視点や角度からの検討を行い、日本製鉄労連の目指すべき目標や方向性を示したビジョン策定に精力的に取り組む。



日本製鉄労連第13回定期大会

第１号議案「第6期後半年度活動方針（案）」に対する和歌山労組補強意見


和歌山労組を代表し発言する
中野執行委員

連合会第６期後半年度活動方針（案）に対し、原案賛成の立場を明確にした上で、２点について補強意見を申し述べる。

まず「安全な職場環境の確立」についてである。

和歌山労組は、働く上で最優先課題である「安全で健康な職場づくり」に向けて労使・直協一丸となって取り組んでいるところである。しかしながら、不休災害や軽処置災害の発生が後を絶たない中、２件の休業災害が発生する等、危機的な状況にあると認識している。

老朽化に伴う安全対策や職場環境の改善に向けては、年々修繕費や安全衛生に関わる費用が削減されていることもあってなかなか進まないのが実態であり、「職場の安全確保」は現場で働く仲間の経験・知識、その上に成り立つ安全意識・感性に頼るところが大きいものと考える。

和歌山労組としては、支部との連携のもと今一度「安全最優先」の浸透と安全に強い人づくりを行うべく、愚直に取り組んでいく所存であるが、連合会におかれては、安全で健康に働くことができる職場環境づくりに不可欠な「ヒト・モノ・カネ」の確保、いわゆる経営資源の投入に向けた積極的かつ実効ある取り組みをお願いする。

次に、「雇用基盤の確立に向けた企業・グループ経営対策の強化」についてである。

和歌山地区においては、ウクライナ情勢によるエネルギー分野の開発の進展により、主力製品である油井管・ラインパイプ用中径シームレスの需要が旺盛となる中、生産対応はもとより、全社収益に貢献すべく地区一丸となって取り組んでいるところである。

全社課題である「設備トラブルの未然防止と安定操業の継続」を行うためには、それを担う働く者の活力発揮が不可欠である。しかしながら、若手層を中心とした「人財」の相次ぐ離職が労使の大きな問題となっており、このことは将来の経営基盤にも大きな影響を与えるものであることから組合員にとっても懸念事項になっている。

離職理由は多岐にわたることから特効薬は見当たらないものの、「将来に亘る盤石な経営基盤の構築と活力発揮に向けた魅力ある労働条件づくり」を好循環させていくことが、先行き不透明感が払拭できない鉄鋼業において、人材の確保・定着にも繋がる重要な観点であると捉えている。

連合会におかれては、組合員の雇用と生活の安心・安定の確保に向けた経営チェック機能の発揮と後半年度より具体化していく「労働条件改善ビジョン」については、日本製鉄で働くことに誇りがもてる、そうした気持ちの醸成につながるビジョン策定となるよう指導性の発揮をお願いする。

最後に、和歌山労組としては、日本のリーディングユニオンである日本製鉄労連の構成単組としての自覚と責任のもと、単組における組織力量の強化はもとより、連合会運動の着実な実践に向けて一丸となって取り組んでいく決意であることを申し述べ、第６期後半年度活動方針（案）に対する補強意見とする。

ご安全に。

基幹労連「第20回定期中間大会」報告

去る９月８～９日にかけて、基幹労連「第 20 回定期中間大会」が広島県「広島国際会議場」にて開催されました。



神田中央執行委員長挨拶（要旨）

With/after コロナにおいては、あらたな視点での組合運動を研究し実行に移していけるかが問われるが、コロナ禍、デジタル化の進展によって会えないけれど繋がれるということも学んだ。それは活動の幅が広がったともとらえられる。

働き方も生活様式も変えていかなければならないように、組合活動のあり方も変わらざるを得ないだろう。しかし、労働運動の理念や目的はなんら変わるものではない。これまでのような Face to face は難しいけれど、その目的である心合わせは、知恵と工夫次第でかなうはず。

どんなに時代が変わろうとも「ど真ん中に人」を据え、この時代変革のなかで、誰一人取り残すことなく進んでいかなければならない。

大きく変わりゆく社会のなかで、職場の活力発揮と産業・企業の永続的な発展、そのための人への投資など、労使でその役割を担うことは結果として、わが国経済・社会の好循環につながるものである。そのことを AP22 春季取り組みで体現もしたはず。AP23 春季取り組みも控えているが、緊張と信頼の労使関係のもとで取り組めば、必ずや道は拓ける。自信をもって私たちの運動を深化させていこう。

和歌山労組第10回定期大会のお知らせ

開催日時 10 月 14 日(金)　17 時 30 分～

開催場所 和歌山　組合会館大会議室
堺　Web中継
海　南　Web中継



【報告事項】
- 一般経過報告
- 2022 年度決算並びに会計監査報告
- 組合規程の一部改正

【特別報告】
- 労働組合会館のあり方検討委員会答申

【審議事項】
- 第１号議案　第 53 期後半年度活動方針に関する件（案）
- 第２号議案　2023 年度会計予算に関する件（案）
- 第３号議案　こくみん共済 coop 全員加入制度に関する件（案）
- 第４号議案　2023 年和歌山市議会議員選挙の勝利に向けた特別決議（案）